

## 編集後記

『眞實心』第九集をお届けします。

本学もここ数年、学生数が増加し、宗教講座も月一回では学生を収容しきれなくなり、数回に分けて実施するのが、慣例となりました。当然ご出講いただく先生方も増え、今号もお蔭で盛り沢山な内容となりました。

さて、今や世を挙げての国際化の時代、狭い島国の中で生きる分にはさして問題とならなかったことが、非常に身近に問われ始めています。すなわちそれは、我々が日本人としてのアイデンティティーをどこに求めるかということであり、それは更に自分自身の存在の大地を問うことを意味します。

それは、日常性に埋没しては見えてこないものであり、「自覚的に求めていかなないと出会えないもの」(二二八ページ)です。しかし現代人は、「いわば気晴らしで一生を過ごせるような錯覚」(二四九ページ)に陥っています。その中で自覚的に生きるとは、自らの危機と孤

独との対峙を意味します。

本書には、その危機と孤独を乗り越えることの大切さが力説されています。それを果たせば、再び退くことのない明るい世界が開かれてくるのです。

今すぐでなくとも、いつかどこかで、たった一人でもいいから、この書を通じて眞実に眼を開く人が生まれることを、念じて止みません。

最後に、誤字・脱字、表記上のミスはひとえに編集者の未熟さにあることをお詫びして筆を擱きます。

(編集委員記)

一九八八年三月

一九八八年三月一八日発行

眞 実 心 第九集 非売品

発行所

光 華 女 子 大 学  
光 華 女 子 短 期 大 学

〒615

京都市右京区西京極葛野町三八番地  
電話〇七五-三二二-七八三(代)

印 刷

(株) 吉川印刷工業所

〒601

京都市南区吉祥院道登中町四五-一  
電話〇七五-六九一-八一八六(代)